

『うつ医療連携 講演会のご案内』



—うつ病と自殺予防のためのシンポジウム IN 八女筑後—

謹啓 梅花の候、先生におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

近年は若干の改善の兆しがありましたが、わが国では平成23年までの自殺者数が14年連続して3万人を越え、欧米の先進諸国と比較しても高い水準で推移しています。その対策として自殺対策に関する初めての法律である『自殺対策基本法』が制定されました。自殺を図った人の多くは、うつ病などを発症していることもわかっており、プライマリケア医を初診される患者さんは約9割を占めます。

このような状況の中、八女筑後地区の医療連携による、うつ病の早期発見・治療、自殺対策、リワークの推進を目的に学術講演会を開催させて頂く運びとなりました。ご多忙中とは存じますが、万障お繰り合わせの上ご出席賜りますようご案内申し上げます。 謹白

記

日時

平成27年 3月 10日（火） 18:50～

場所

おりなす八女 1階 『はちひめホール』

八女市本町602-1 電話 0943(23)2131

<情報提供> 「ジェイゾロフト錠」 18:50～ ファイザー株式会社 学術担当

1: <開会挨拶・活動総括> 19:00～

【総合座長】 筑後メンタルヘルス研究会 代表世話人
久留米厚生病院 院長 石橋 明 先生

2: シンポジウム 19:05～20:30

【座長】 植田病院 院長 植田 清一郎 先生

①. 『CBTを用いたグループの報告 —リワークをみすえた初期の活動—』

筑水会クリニック 臨床心理士 木戸 優美子 先生

②. 『うつ病患者さんの復職状況』

植田病院 精神保健福祉士 田中 健太 先生

③. 『気分障がい患者の復職支援～リワークプログラムを中心に～』

久留米学医学部 神経精神医学講座 講師 内野 俊郎 先生

3: パネルディスカッション 20:30～21:00

【コーディネーター】 久留米学医学部 神経精神医学講座 教授 内村 直尚 先生

『リワークの現状と課題』

・アドバイザー: 植田病院 院長 植田 清一郎 先生

・パネラー : 木戸 優美子 先生、田中 健太 先生、内野 俊郎 先生、
川島典子先生(八女市役所 市民福祉部 健康推進課) (順不同)

●当日、医師及び薬剤師の先生は参加費を1000円徴収させて頂きます。(医師・薬剤師以外の方は参加費不要です)

●日本医師会生涯教育2単位

カリキュラムコード 6【心理社会的アプローチ】・10【チーム医療】・13【地域医療】・70【気分の障害(うつ)】

●福岡県筑後地区病院薬剤師会1単位

●当講演会は日本薬剤師会・プロフェSSIONALスタンダード(PS)における

【3. 地域住民の健康増進(薬物乱用防止、セルフメディケーション)】3-4-4～6に該当します。

※当日は軽食をご用意しております。

共催 八女筑後医師会 八女筑後薬剤師会 筑後地区病院薬剤師会 筑後メンタルヘルス研究会
ファイザー株式会社